

サザンクロスルータシステム「AR415S」

ファームウェアリリースノート

Version 2.9.1-21

Ver.2.9.1-21

以下のとおり機能追加、機能改善が行われました。

1. 本バージョンで追加された機能

ENABLE FIREWALL POLICY コマンドOPTIONS パラメーターの拡張

ENABLE FIREWALL POLICY コマンドにて許可設定が可能なIPオプションに“ROUTER ALERT” を追加しました。

2. 本バージョンで修正された項目

- (1) サポート対象外のHTTP サーバーが有効なとき(デフォルトは有効)、細工された特殊なHTTP リクエストを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- (2) SSH サーバー機能において、大量の暗号化データを処理中にSSH クライアントとのセッションが切断されるとメモリーリークが発生することがありましたが、これを修正しました。
- (3) OSPF とIP ルートフィルターの併用時、IP ルートフィルターの設定に関連する、宛先IP アドレスが同一でマスクだけが異なる経路が複数ある場合、OSPF の経路情報が正常に登録されないことがありましたが、これを修正しました。
- (4) OSPF ASBR としての動作中に再起動するとAS 外部経路を正しく通知しなくなることがありましたが、これを修正しました。
- (5) IPv6 サブネットルーターエニーキャストアドレス宛でのPing パケットを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- (6) ファイアウォールNAT(インターフェースNAT のダイナミックENAT)使用時、PRIVATE 側インターフェースがリンクダウンしていると、PRIVATE 側インターフェースのIP アドレスに宛てたPUBLIC 側からのPing パケットに誤って応答していましたが、これを修正しました。
- (7) ファイアウォール有効時、TCP 以外のフラグメントパケットをTiny FragmentAttack と誤認識して破棄していましたが、これを修正しました。

3. 本バージョンでの留意事項

(1) 認証サーバーについて

RADIUS サーバーを複数登録している場合、最初に登録したRADIUS サーバーに対してのみ、SET RADIUS コマンドのRETRANSMITCOUNT パラメーターが正しく動作しません。最初のRADIUS サーバーへの再送回数のみ、RETRANSMITCOUNT の指定値よりも1 回少なくなります。本現象は802.1x 認証を使用した場合のみ発生します。

(2) ポート認証について

- ①DISABLE PORTAUTH コマンドで、PORTAUTH パラメーターに8021x を指定すると、EAP Success パケットを送信してしまいます。
- ②RESET ETH コマンドによってEthernet インターフェースを初期化しても、認証状態は初期化されません。
- ③802.1x 認証済みのクライアントがログオフした場合、ログオフしたクライアントのMAC アドレスがフォーワーディングデータベース(FDB)に保持されたままになります。
- ④ENABLE/SET PORTAUTH PORT コマンドのSERVERTIMEOUT パラメーターが正しく動作しません。これは、SET RADIUS コマンドのTIMEOUT パラメーターとRETRANSMITCOUNT パラメーターの設定が優先されているためです。SET RADIUSコマンドでTIMEOUT × (RETRANSMITCOUNT + 1) の値をSERVERTIMEOUT より大きく設定した場合は、SERVERTIMEOUT の設定が正しく機能します。

(3) ブリッジングについて

ポート1 がタグ付きパケットのブリッジングの対象となるVLAN に所属し、そのVLAN にIPアドレスが設定されている場合、ポート1 からVLAN のIP アドレス宛の通信をしようとすると、ルーターがARP に応答せず、通信ができません。これはポート1 でのみ発生し、他のポートでは発生しません。

(4) ダイナミックDNSについて

- ①ダイナミックDNS のアップデートで、以下の2つのケースにおいて、アップデートは再送されません。
 - 本製品からのTCP SYN パケットに対して、ダイナミックDNS サーバーからのSYN ACK パケットが返って来ない場合
 - 本製品からのTCP SYN パケットに対して、ICMP Host Unreachable メッセージが返される場合
- ②ダイナミックDNS のアップデート(HTTP GET)に対する応答として、ダイナミックDNS(HTTP)サーバーから特定のエラーコード(404 Not Found)を受信すると、SHOW DDNS コマンドのSuggested actions の項目にHTML タグの一部が表示されることがあります。

(5) IPv6について

- ①RIPng 経路を利用してIPv6 マルチキャスト通信を行っている場合、経路が無効(メトリック値が16)になっても、しばらくその経路を利用して通信を行います。
- ②ガーベージコレクションタイマーが動作中のRIPng 経路は、新しいメトリック値を持つ経路情報を受信して

も、タイマーが満了するまで経路情報を更新しません。

(6) DHCPv6 サーバーについて

- ① DHCPv6 サーバーで認証機能を使用した場合、ADD DHCP6 KEY コマンドのSTRICTパラメーターが動作しません。
- ② ADD DHCP6 POLICY コマンドでDHCPv6 サーバーの設定を変更しても、サーバーからReconfigure メッセージが送信されません。ADD DHCP6 POLICY コマンドの実行後、さらにSET DHCP6 POLICY コマンドを実行してください。これにより、Reconfigure メッセージが送信されます。

(7) UPnPについて

UPnP において、同一ポート番号のTCP、UDP から自動ポートマッピングの要求が発生した場合、先に受信した方しかポートが開放されません。

4. 取扱説明書(613-000666 Rev.B)・コマンドリファレンス(613-000667 Rev.C)の誤記訂正

(1) VLAN 数の制限について

「コマンドリファレンス」/「VLAN」

34 番目と37 番目に設定したVLAN が正常に動作しません。このため、デフォルトVLAN を含めたサポート VLAN 数は16 となります。

(2) WAN ポート仕様について

取扱説明書(135 ページ)に記載の製品仕様は、以下のように訂正します。

A.7 製品仕様/ ハードウェア/ インターフェース/WAN ポート

[誤] 10BASE-T/100BASE-TX × 1(オートネゴシエーション、Full Duplex/Half Duplex/10Mbps/100Mbps 手動設定、常にMDI/MDI-X 自動切替)

[正] 10BASE-T/100BASE-TX × 1(オートネゴシエーション時MDI/MDI-X 自動切替、Full Duplex/Half Duplex/10Mbps/100Mbps 手動設定時はMDI 固定)
